

奈良市自治連合会だより

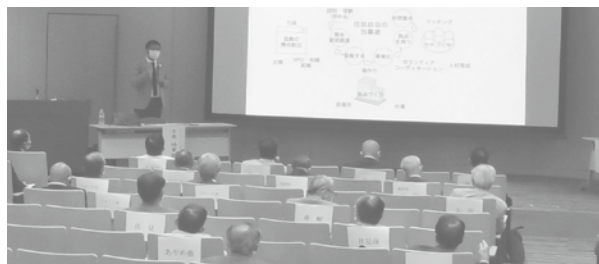
第30号

発行 「奈良市自治連合会
だより」編集委員
発行部数 13,000部

2回シリーズで「地域活性化セミナー」開催 ～地域課題の見える化と課題解決策について学ぶ～

令和3年10月と12月に宝楽 陸寛氏をお招きし、はぐくみセンターにて奈良市地域づくり推進課の主催により地域活性化セミナーが2回シリーズで開催されました。

各地区自治連合会や地域自治協議会の会長が参加し、地域課題の見える化や地域一体となった課題解決の方策について、先進事例を交えて学ぶとともに、グループワーク等を通じて地域コミュニティのあり方を考え実践につなぐ機会としました。



ソーシャルディスタンスでの1回目の講演会

講演会 (1回目)

セミナー第1回目の10月20日(水)は、宝楽氏による講演会が開催されました。

地域活動に関わってくれる人を増やすために、どのようなプロセスを歩むべきか、まちの問題を共有することの大切さ、課題解決思考の前に地域の理想実現から逆算して見えてくる可能性など、南大阪地域の取り組み事例を交えて講義いただきました。

講演会後のアンケートでは、①地域運営について、組織・会議・行事のあり方など一度棚卸して整理してみることで、②PDCAのサイクルを短いスパンで一つひとつの事業で行うこと、③地域のことは地域で考えみんなで進めること、④今まで見ないで通り過ぎてきた道を振り返ること、などが印象に残ったとの共通した回答がありました。このように地域づくりのヒントを数多く聞くことができましたので、コロナ後の活動に生かしていきたいものです。

講師プロフィール

宝楽 陸寛 (ほうらく みちひろ) 氏

NPO法人SEIN事務局長/株式会社ひとまち講師/ファシリテーター養成師/WEBデザイナー。

ビジネスからボランティアまで、広報や情報発信、組織運営のコンサルティングとして活動。特にNPOや市民と行政、企業が協働で地域課題を解決し、人やまちが元気になるコミュニティづくりを進めている。直近では、市民のアイデアをまちの活力に活かした泉北ニュータウンまちびらき50周年事業や、対話型で居場所づくりを行う茶山台としゃかん、大学や行政、地域住民など様々な団体との協働で地域再生活動を構築する咲っく南花台生活応援プロジェクトなど多様なまちづくりの現場にプロジェクト型ファシリテーターとして取り組んでいる。

ワークショップ (2回目)

4地区から取り組み事例を発表

セミナー第2回目の12月15日(水)は、最初に地域自治協議会検討委員会 吉岡 正志委員長(市自治連合会相談役)から地域自治協議会の取り組み状況調査結果の報告があり、次に、佐保、平城西、朱雀、田原の4地区から取り組み事例の発表がありました。

各地区の発表に対してグループで質問とアドバイスを出し合い、宝楽氏の進行により意見交換が行われました。アドバイスとしては「ZOOM等を使ったオンライン会議の導入」や「地区自治連合会会長の任期を複数年に会則を変更」などがあり、質問としては「役員の後継者について」や「広報誌発行に係る人数や予算について」などが出ました。

アンケートには、「生の声が聴けて共感した。」「思いは同じで、やる気が湧いた。」などがありました。



グループワークで意見をまとめる



笑顔があふれるまちづくり

自治会活動の推進に関する取り組み調査

地域活動の活性化につながればとの思いから、令和3年9月に奈良市自治連合会にて自治会活動の推進に関する取り組み調査をアンケートの形で行いました。

自治会離れや役員の担い手不足などの大きな課題に対し、各地区において広報活動やイベント開催など創意工夫をされ、楽しいまちづくりのために取り組まれています。たくさんの事例の中から一部、自治会活動の参考にご紹介させていただきます。

取り組み調査にご協力いただいた自治会及び地区自治連合会の皆様に感謝するとともに、いただいた事例やご意見など奈良市自治連合会の取り組みにも生かしてまいりたいと思います。

単位自治会の取り組み事例



広報・加入促進

- ・「自治会だより」等を発行し、自治会活動の周知と協力を依頼している。
- ・未加入世帯への加入案内状の配布やポスターの掲示。
- ・住民へのアンケート調査（自治会行事等の見直しや要望、会員ニーズの把握）。
- ・集合住宅へは、オーナーさんが積極的にチラシを配布、戸建て住宅へは、自治会長が訪問して自治会活動の案内や説明をしている。

イベント

- ・餅つき大会の開催。
- ・夏祭り、秋祭りなど各種お祭りの開催。
- ・昔からある、お寺・神社の行事、慰霊祭の実施。
- ・歩こう会、健康麻雀倶楽部、囲碁将棋倶楽部などテーマ型交流クラブの設立。
- ・旅行や各種レクリエーションの実施。
- ・子ども会や敬老会のプレゼント配布や親睦行事の開催。
- ・長寿（古希、喜寿など）のお祝いや成人のお祝い。
- ・ラジオ体操の実施。

環境整備

- ・グリーンサポート(児童公園の掃除、緑化促進)
- ・リサイクル活動の推進。
- ・町内清掃の実施。
- ・不法投棄の見回り。
- ・獣害の駆除。

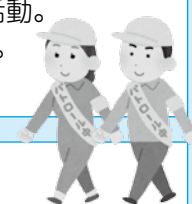


役員の任命

- ・会長の固定化を防ぐため、会則を輪番制に変更。役員は、長年にわたって負担がかからないように1年任期としている。
- ・通常の役員（会長・副会長・会計等）以外に、各種イベント開催や日常活動に関わって貰う人を「ふれあい委員」として任命し、将来の役員候補としている。
- ・役員経験を通じて自治会活動を理解してもらうため、毎年、会長・役員を経験しておられない方を抽選して指名している。
- ・各自治会のまつり等の行事開催時に、役員だけではなく周りの人にもスタッフに入ってもらい、その中から新しい担い手を見つけ出している。

福祉・防災防犯

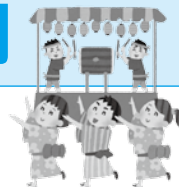
- ・買物難民対策、移動販売の推進。
- ・高齢者慰問、見守り。敬老会への支援。
- ・消防団への支援。
- ・防災訓練、HUG訓練を通しての活動。
- ・高齢者、要支援者への見守り訪問。
- ・救急キットの全戸配布。



自治会の運営

- ・役員の仕事の簡素化、業務分担を実施。
- ・自治会活動の適正規模について協議。
- ・80才以上の会員は役員を免除すると会則を改め、退会及び未加入の住民すべてを訪問して、再加入及び加入を呼びかけた。
- ・役員間ではグループチャットを利用。
- ・加入世帯数の減少からの班世帯数のバラツキがあり、班の合併に取り組む。
- ・高層マンションでは階別班長を廃止し、回覧作業を省き掲示板での広報活動に切り替えた。
- ・自治会役員に役員報酬を支払う。

地区自治連合会の取り組み事例



広報・加入促進

- ・地域の活動内容を発信して、各種行事への参画を促進。
- ・未加入世帯に対して“在宅避難リーフレット”を配布し、加入によるメリットを訴えている。
- ・自治会加入促進チラシの配布。
- ・賃貸アパート入居者に「自治会加入促進（加入のメリット）パンフ」＆「地域広報誌」等の配布。
- ・多くの住民対象イベントで「自治会加入促進」立て看板を設営、PR活動を実施。
- ・ホームページの開設。
- ・行事案内等のタイムリーな発信。



イベントや研修会

- ・フェスティバル・祭りの開催。
- ・花火大会の開催。
- ・全地区対抗スポーツ大会の開催。
- ・夏休み親子ラジオ体操の拡大支援。
- ・連合会主催のチャリティーゴルフコンペの開催。
- ・連合会主催の地区戦没者追悼式。
- ・伝統芸能（太鼓踊り）の育成。
- ・自治会長研修会の開催。
- ・自治会活性化のためのワークショップ開催。
- ・地域課題解決につながる関係団体等との研修会の開催。
- ・河川、道路等の草刈りや清掃活動。

福祉・防災防犯

- ・在宅寝たきりの方への訪問活動。
- ・災害時要支援者支援活動への協力。
- ・地区社協や防災と協働し、防災マップや防犯啓発シートなどの全戸配布。
- ・防犯カメラの設置推進。
- ・あいさつ運動の実施。



自治会・各種団体との連携

- ・自治会長会議で地域内の各種団体やNPO法人等の活動を紹介。
- ・5～8自治会で構成するブロック会議を隔月に開催して、悩みや課題を話し合い、解決するなかで自治会の必要性を認識してもらっている。
- ・円卓会議（団体代表者会議）の開催。

役員の任命

- ・現役自治会長に加え元自治会長からも役員を選任できるよう規約改正を行った。
- ・役員は自治会長経験者と規定していたが、撤廃し現在は地域の有職者、また活動に関心ある若者の参画可とした。
- ・各種地域団体の会長兼任を避けつつ、役員として参加する。
- ・会長を含めた役員の任期を1年とし、各自治会員の負担を減らすとともに、持ち回りとすることで、活動内容に理解を深めてもらっている。
- ・単位自治会長任期が終了することをもって自治連合会理事に就任頂くことに会則変更を行った。

地区自治連合会の運営

- ・自治連合会内に部門別部会を設置、自治会長等の委員参加の機会を設け、自治会の参画と協働を促すと共に住民参加の意識を高める。
- ・自治連合会の三役は、自主防災防犯会、社会福祉協議会の三役を兼任し、女性防災、地域安全推進委員、民生児童委員の役員が参加している。
- ・各組織のスリム化を目指し、兼務も極力無くす方向で検討中。
- ・行事の見直し、単位自治会への労務・費用の負担軽減をして、単位自治会や組織団体に負担のかからないようスリムな自治連合会を目指している。

課題に対して市自治連合会として取り組むべき事項の提案など、ご意見

- ・加入率の分母となる奈良市の住民の世帯構成の推移等の基礎データの収集分析を。世帯構成および賃貸やマンションなど居住形態の変化も大きい。既に統計は取っていると思われるが、人口や世帯数の変化だけでなく、産業や雇用など含む多種多様なデータの収集と活用が望まれる。
- ・定期的にアンケート（簡便なものでよい）を積み重ね、住民の気持ちを汲み取り変化を見ると同時に、対策も適時に行えるような体制づくりも必要かと思う。
- ・自治会加入促進チラシの内容最新版の発行。
- ・自治会活動をサポートするような研修会を地区連合会単位での実施や情報提供。
- ・行政サービスコストの削減、パートナーシップ、コミュニティ自治など言われる割に「円卓会議」が行われないのが不思議である。



わがまち自慢



過去と未来が繋がる街 佐保川

佐保川地区自治連合会

佐保川地区自治連合会は、大宮小学校と佐保小学校より分割され平成4年4月に28自治会により結成された若い連合会です。

エリアは、南は近鉄線より北側、西は平城宮跡より東側、東はJR京都線より西側、北はならやま大通りより南側で南北に長い地域で、地域内が国道24号線によって4分割されています。



佐保川わいわい桜祭り

地域内には、奈良時代より悠久の流れを今に伝える佐保川や菰川があり、宇和奈辺古墳や磐之姫命稜や、佐紀盾列古墳群など歴史資産と自然景観の豊かな地域です。

<我が地域の取り組みとして>

- ① 佐保川地区ふれあい会館を地域活動の拠点として各種自主事業の展開。
- ② 地区社協提供の情報機器を活用してオンライン会議の実施。
- ③ ふれあい会館と自治連合会のHPの開設で、情報提供と共有。
- ④ 各種団体の代表者による円卓会議の開催で、横の連携と協働の推進。
- ⑤ 豊かな人間関係の根本の『あいさつ運動』の実践で地域の絆づくり。
など、子どもから高齢者までの縦の関係と、各種団体との横の連携で、タテ糸（歴史・伝統）（動かない）とヨコ糸（未来・流行）（動き回る）を織り込んで素晴らしい地域織物を作っていきたいと思ひます。



菰川の夕涼み

子どもを守るまちづくり

富雄地区自治連合会

富雄地区は四季折々羨望する小山の風景の美しさ、鯉魚泳ぐ富雄川の悠久の流れ、古くからの伝統や行事が継承されている地域です。

地区の中心である富雄駅。タクシー乗り場とバス停留所が広がります。繁華街ではなく、少し歩けば住宅街。見通しもよい立地です。

ここには線路沿いと住宅街の方から子どもたちが合流して通学します。朝と夕方の登下校時間は大賑わいです。通勤の人や車が行き交うスポットです。

2004年に小学一年生女兒が誘拐され殺害事件が起きた地区です。事件のあと「子どもたちを守る」地域の取り組みが始まりました。その一つが現在も続く「集団登下校」です。原則として子どものことは保護者が見るべきという意見がありますが、子どもは地域の宝です。自治会・自治連合会が主体となって集団登下校実施実現に向けて話し合い「ターミナル方式の集団登下校」を事件の2週間後から始めました。そして、時代の情勢に合わせて改善しながら、今も続けているのです。

富雄駅を通るルート、川沿いを歩くルートなど、

学校へ向かう道は複数あります。もちろん防犯カメラが設置されています。また、正面玄関横と運動場入り口には防犯監視所「みてるくん」が設置されています。これは、この富雄北小学校は外部の人が入りやすいつくりなので、2001年に起きた大阪教育大学付属池田小学校事件をきっかけに自治会と自治連合会が働きかけ、2004年に自治会会員の寄付で作られたものです。けれども出来上がった同年に事件が発生してしまいました。

学校まわりだけでなく、地域全体の安全確保の重要性を再認識した自治会・連合会が、事件前から子どもを対象とした防犯活動を行っていたからこそ、事件後の対応が速やかでした。

また、隣接する鳥見地区自治連合会は、2004年の事件をきっかけに、青色パトロール隊（青色パトカー）を結成し、子どもの安全を願い、鳥見小学校PTAなどの皆さん30歳～40歳の若い方々が主力になって活動中です。

今後の活動としては、①わが子が大きくなったら「過去」になるのではなく、今度は見守る立場になる保護者を増やすこと。②福祉を通した「思いやり教育」を子どもたちにすること。③子どもたちに危険を察知できる防犯知識を身につけてもらうこと。

自治会パトロールの緑のベストは安全の証。これからもずっと活動は続きます。

編集後記

コロナ禍で何かと制限があるなか、地域活動にご尽力いただき感謝いたします。今後も地域課題の共有と、それに対応した解決の方策を学ぶとともに発信していきたいと思ひます。（編集委員）